

## 令和6年度認定看護管理者教育課程募集要項

公益社団法人 岩手県看護協会

\* セカンドレベルは休講

	ファーストレベル	サードレベル
<b>教育目的</b>	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。	多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を修得する。
<b>到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。</li> <li>組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。</li> <li>看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる。</li> <li>社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。</li> <li>経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。</li> </ol>
<b>受講要件</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>日本国の看護師免許を有する者</li> <li>看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上ある者</li> <li>管理業務に関心がある者</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>日本国の看護師免許を有する者</li> <li>看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上ある者</li> <li>認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者、または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者</li> </ol>
<b>定員</b>	80名	20名
<b>研修開催期間</b>	9月17日(火)～10月24日(木)	6月25日(火)～8月23日(金)
<b>研修日数</b>	20日間	33日間
<b>研修開催方法</b>	オンラインまたは集合で行う	原則として集合し、対面で行う
<b>応募期間</b>	5月16日(木)～5月23日(木) 12時必着	4月4日(木)～4月11日(木) 12時必着
<b>提出書類</b>	認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講申込書(ホームページからダウンロード可)	<ol style="list-style-type: none"> <li>認定看護管理者教育課程サードレベル受講申込書(ホームページからダウンロード可)</li> <li>セカンドレベル修了証書の写し セカンドレベル未修了者は職位が記載された勤務証明書</li> <li>小論文(課題と書式は、注1参照)</li> </ol>
<b>選考方法 選考基準</b>	認定看護管理者教育運営委員会において以下の視点で選考する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>受講要件を満たしている</li> <li>問題意識を持ち、管理上の課題につなげている</li> </ol>	認定看護管理者教育運営委員会において以下の視点で選考する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>受講要件を満たしている</li> <li>受講動機における自己の課題が明確で、論旨が明瞭である</li> <li>小論文は評価基準<sup>注2)</sup>に沿って記載されている</li> </ol>
<b>選考結果通知</b>	7月中旬に本人と所属施設長、看護管理者に通知	5月下旬に本人と所属施設長、看護管理者に通知
<b>受講料</b>	会員：130,000円 非会員：240,000円 *教科目レポート審査料を含む	会員：260,000円 非会員：490,000円 *教科目レポート審査料を含む
<b>修了要件等</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>各教科目の所定時間の4/5以上の出席がある</li> <li>各教科目レポートの評価がC以上である(A:80点以上、B:79～70点、C:69～60点、D:59点以下)                ・認定看護管理者教育運営委員会において、上記に基づき審査を行う。                ・修了者には、岩手県看護協会会長名で修了証書を交付する。             </li> </ol>	
<b>送付先</b>	〒020-0117 岩手県盛岡市緑が丘2丁目4番55号 公益社団法人岩手県看護協会 教育部宛	

注1) サードレベルの小論文課題と書式

●小論文課題

地域の保健・医療・福祉の動向を踏まえて自施設の現状を分析し、そこから出された課題について、看護部のトップマネジャーの視点で述べてください

●書式

1行目	小論文（センタリング）
2行目（空欄）	
3行目「テーマ」	本文の内容を表す適切なテーマをつける
4行目（空欄）	
5行目	（右寄せで） <u>氏名記入</u>
6行目（空欄）	*以下左寄せ
7行目	本文を書き始める。
	<p><b>*本文 文字数は、1200～1400文字以内</b></p> <p>*図、表は使用しない</p> <p>*引用・参考文献の記載は不要</p> <p>*文字フォントは、MS 明朝体 10.5 ポイント</p> <p style="text-align: right;">（〇〇〇字）</p> <p>*本文終わりに（ ）で文字数を記載する</p>

注2) サードレベルの小論文評価基準

項目	内容	点数配分	
課題の理解	1. 課題に対応したテーマである	15	30
	2. テーマは論述内容とあっている	15	
思考力	3. トップマネジャーの視点で述べている	20	40
	4. 取り上げる課題の背景（必要性・意義）が現状分析をもとに述べられている	20	
論述能力	5. 論点・論旨が明瞭で一貫性がある	10	30
	6. 論理的に述べられ、他者が理解しやすい内容構成である	10	
	7. 指定された書式に沿って記載されている	5	
	8. 誤字・脱字がなく、適切な表現で記載されている	5	

《個人情報保護》

本会の個人情報保護方針及び規則に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。本会研修申込みに際して得た個人情報は、研修会申込みに伴う諸連絡、研修案内に用い、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取扱うことはいたしません。もし、この範囲を出る場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。

《事前準備の研修受講（推奨）》

ファーストレベル・サードレベルの受講者で、「論文の書き方」に関する講義を受けたことのない方・文章を書くことに苦手意識がある方は、事前準備として、一般研修の「論理的な課題レポートの書き方」（5月21日）の受講をお勧めします。